幼児キャンプ2016

わくわく!チャレンジ!!　森のたんけん隊！

平成28年8月19日(金)～21日(日) 2泊3日

参 加 者　4歳児・5歳児の皆さん　27名

参加家族　お父さん・お母さん・きょうだい　49名

スタッフ　自然の家職員　3名

妙高市教育委員会より指導主事・保育士　5名

日本女子大学・上越教育大学・新潟青陵大学の学生　8名

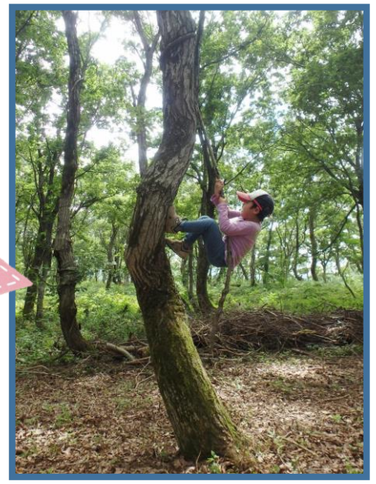
　このキャンプは妙高市教育委員会と自然の家が連携を図り、企画から運営、評価まで熟議と協働を重ねています。今回も園指導主事に運営総括として、市立保育園の保育士さんから班のリーダーとして関わっていただきました。人がつながり、思いが伝わり、子どもたちの心身の健康を保障できるよう努めています。

8月19日(金)

・開会式

・仲良しタイム

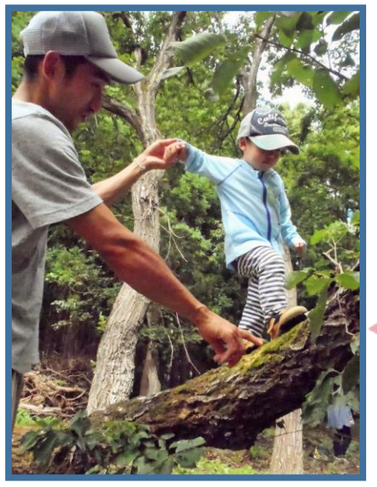
たくさんのお友だちや先生たちと「こんにちは！」をした開会式。
仲良しタイムでは、恥ずかしい気持ちを乗り越えて、大きな声で自己紹介することができました。リーダーの先生たちの楽しい出し物を見たり、みんなでじゃんけん列車を楽しんだりして、緊張していた気持ちがほぐれたようです。

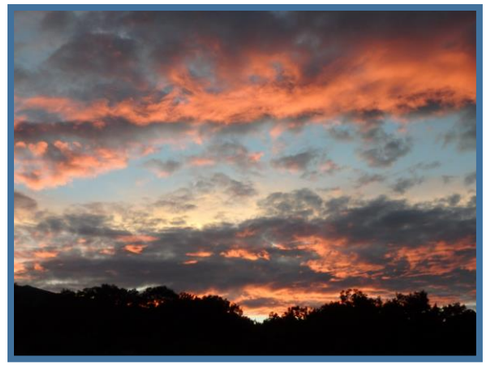


8月20日(土)①
森あそび＆ハイキング

お弁当をリュックに入れて出発！
同じ班のお友だちやリーダーの先生ともすっかり仲良しになり、笑顔があふれています。緑鮮やかな森で、初めてのことにも一生懸命に挑戦していく姿が見られました。

チャレンジしたこと
◎木のぼり
◎ハンモック体験
◎森のイケメン探し





8 月 20 日(土)②

野菜収穫体験

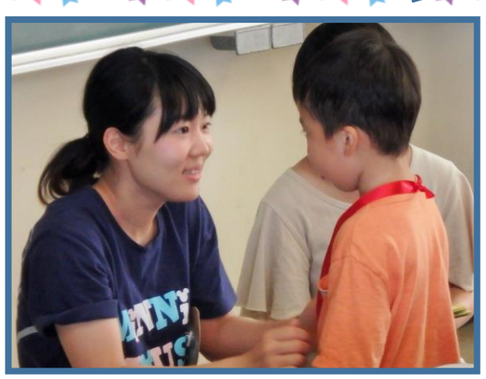
ハイキングの途中では、地元の農家の方に教えてもらってトウモロコシとミディトマトのもぎ取りをし、収穫の楽しみを存分に味わいました。もぎたての味は最高でした。

キャンプファイヤーでは火の神から「火の役割」のお話があり、４人の火の子たちが点火の役割を担いました。

8月21日(日)

- **カートンドッグ作り**
- **クラフト活動**
- **閉会式**

カートンドッグは、自分の分だけでなくお父さん・お母さんの分も作りました。クラフト活動では思い出の写真立てを作製。小枝やドングリなどをあしらった細かい作業に取り組み、思いおもいの作品が出来上がりました。
最後はみんなで３日間のスライドを見て、リーダーの先生とサヨナラの握手をしてお別れです。



子どもたちのいろいろな表情が溢れていた３日間。
泣いた顔、笑った顔、困った顔、怒った顔、眠そうな顔…
そこにあるどの顔も、すべてがまっすぐで純粋で希望に満ちたものでした。

そして、
子どもたちはいろいろなことに挑戦し、友だちと触れ合い、自分なりの成長を一人一人が見せてくれました。

さらに、その成長を見届ける保護者や保育士、学生、施設職員など、子どもたちを取り囲む誰しもが、このキャンプによってそれぞれに成長することができました。

幼児キャンプでは、幼児を中心として、かかわったすべての人がそれぞれの立場で成長していきます。